



所在地 〒328-0053 栃木市片柳町5丁目1-30
 電話 0282-22-0541
 F A X 0282-22-0567
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/tochigishogyo/nc2/>
 創 立 大正6年
 課 程 全日制課程
 設置学科 商業科・情報処理科
 生徒数 508名(男子169名 女子339名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 栃木駅より徒歩15分、バス10分

I 学校の概要

1 教育目標

人間性豊かで逞しく地域産業を担う人材を育成する

2 目指す学校像

- 他者の立場を尊重し、自ら考え、主体的に行動する力を伸ばす学校
- 地域産業に貢献できる資質や能力を備えた生徒を育成する学校
- すべての教科において学力の定着を図り、資格取得にも積極的に挑戦する学校

3 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で、本校の教育目標・目指す学校像を理解し、次の(1)及び(2)に該当する生徒

- (1) 基本的生活習慣が身に付いており、他者を尊重し、思いやりと規範意識を持った生徒
- (2) 商業に関する知識と技能の習得を目指し、その成果を活かして自己の進路目標を実現することに強い意志を持った生徒

4 学校の特徴

- (1) 今年で創立104年の歴史と伝統のある男女共学の商業高校です。これまでに約2万3千名以上の卒業生を輩出し、地元の栃木市内はもちろん、県内外さらには海外においてもさまざまな分野で活躍しています。
- (2) 進取・協調・奉仕の校訓のもと、充実した施設・設備を利用し、自己の進路実現を目指し、のびのびと明るく、学習活動・生徒会活動・部活動等に取り組んでいます。
- (3) 検定学習に力を入れており、ほとんどの生徒が商業や英語などの様々な検定試験に合格しています。
- (4) 就職率は100%、大学や短大、専門学校にも多くの生徒が進学しています。
- (5) 部活動においてはハンドボール、フェンシング、空手道、美術、会計研究、珠算、ワープロなどが全国・関東大会に出場するなど活気のある学校です。
- (6) 毎年11月3日に行っている栃商デパートは、約4千人のお客様をお迎えする販売実習で、本校の伝統行事となっています。



II 学科・コース・教育課程・学校生活等の特色

1 施設・設備の特徴

ビジネス教育に必要なコンピュータ設備（3教室123台）、企業間取引の模擬実践を行う総合実践室、販売実習が体験できるマーケティング室など、商業高校ならではの施設・設備が充実しています。また、部活動をバックアップする天然芝の野球グラウンド、第1・2 体育館、テニスコート、ハンドボールグラウンドなどを完備しています。

2 制服の特徴

男子は黒の詰め襟の学生服、女子は紺のセーラー服、どちらも本校の誇りと、伝統を感じさせるものです。

セーラー服は白襟カバーをつける形で、儀式の際には黒のストッキングを着用するなど、清楚なイメージがあります。女子の夏服は紺のスカートと白のセーラー服に紺の襟カバーをつけ、夏の日差しを爽やかに映えさせるものになっています。



3 学習内容

商業高校の学習には国語、数学、英語などの共通教科とビジネス基礎、簿記、情報処理、ビジネス情報、マーケティングなどの専門教科(商業科目)があります。

本校には商業科と情報処理科の2学科があり、それぞれ特色ある科目を学習しています。科目の履修にあたっては、習熟度別学習や希望する科目の履修を可能にする選択制を導入しています。

商業科

第1学年より2コースを設けて、生徒の希望によりコース選択を行っています。

総合ビジネスコースはビジネスに関する幅広い学習を通して、経済社会の一員として必要な基礎的・基本的な知識や技能の習得を目標とし、就職から進学までの幅広い進路実現を図っています。全商簿記実務検定1級、全商情報処理検定1級、全商商業経済検定1級等の合格を目標とし、多くの種類の検定に対応した学習に特色があります。

国際ビジネスコースは、ビジネスに関する専門科目をより高度に学習するコースです。簿記や英語を中心として、積極的に高度な資格取得に取り組み、その専門性を活かした大学進学を果たしています。日商簿記検定2級、全商簿記実務検定1級、全商英語検定1級、全商商業経済検定1級等の合格を目標とした学習をしています。

情報処理科

情報処理に関する必要な知識と技能を習得することを目標とする学科です。ビジネスでのパソコン活用法やプログラミングなどを学び、将来の情報処理のスペシャリストとして必要な資格の取得を積極的に推進しています。ITパスポート試験や基本情報技術者試験、全商情報処理検定1級、全商簿記実務検定1級、全商商業経済検定1級等の合格を目標とした学習をしています。

令和2年度各種検定試験合格者状況

検定種目	1級	2級	3級	備考
全商簿記	88	76	36	1級科目合格(会計159名 原計118名)
全商会計実務	1			財務諸表分析32名 管理会計5名 (3科目合格4名)
全商ビジネス文書	86	55	39	
全商情報処理	106	84	73	1級(ビ情54名 プロ52名)
全商英語	9	45	156	
全商商業経済	194	134	116	マーケ209名 経法18名 ビジA159名 ビジB17名(全種目8名)
全商珠算・電卓	160			1級(珠算10名 電卓150名)
北関東簿記	18	72	35	1級科目合格(会計106名 原計35名)

検定種目 段・級	1級	2級	準2級	3級
日商簿記		10		7
ITパスポート(経済産業省)	7			
秘書検定(実務技能検定協会)		3		
実用英語技能検定(日本英語検定協会)		6	35	
漢字検定(日本漢字検定協会)		2	31	

商業に関する検定だけでなく、漢字検定や数学検定、実用英語検定など様々な検定試験にも取り組んでいます。

Ⅲ 進路状況

令和2年度の卒業生の進路状況は、進学が72.2%、就職が26.2%でした。

就職については、金融業、販売業、製造業など多くの企業から求人をいただき、全員が希望する職種に就職をしました。職種別では事務職に46.9%、製造職に40.8%、営業・販売・サービス職に10.2%となっています。また、2年次に全員が地元企業にてインターンシップ（令和2年度は実施せず）を体験し、職業意識の啓発を図っています。

進学については、取得した資格を活かした推薦入試（指定校推薦、全商特別推薦、商業科推薦）により、希望者全員が現役で合格しています。進学先別の割合は、大学が36.3%、短大が6.7%、専門学校等が57.0%です。

令和2年度 進路状況	進 学				就 職		そ の 他	合 計
	国 立 大 学	私 立 大 学	短 期 大 学	専 修 学 校	県 内	県 外		
商 業 科	1	39	8	65	39	3	1	156
情 報 処 理 科	0	9	1	12	7	0	2	31
合 計	1	48	9	77	46	3	3	187

令和2年度の主な進学先

<大学>

高崎経済大学 明治大学 (3) 法政大学 中央大学 武蔵大学 (2) 日本大学 (2) 獨協大学 (3) 専修大学 (4) 東京経済大学 (4) 拓殖大学 (5) 文教大学 日本体育大学 千葉商科大学 (2) 白鷗大学 (3) 作新学院大学 (6) 帝京大学 (2) 足利大学 他

<短大>

國學院大學栃木短期大学 佐野日本大学短期大学 (6) 宇都宮文星短期大学 埼玉女子短期大学

<専門学校>

大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校 (2) 大原簿記スポーツ公務員専門学校 (4) 宇都宮ビジネス電子専門学校 (11) 東京IT会計法律専門学校 (3) 宇都宮メディア・アーツ専門学校 (3) 栃木県立衛生福祉大学 (6) 獨協医科大付属看護専門学校 (4) 国際TBC小山看護専門学校 (4) 宇都宮歯科衛生士専門学校 小山歯科衛生士専門学校 (4) マロニエ医療福祉専門学校 (5) 太田医療技術専門学校 (3) 国際テクニカル美容専門学校 (2) 服部栄養専門学校 東洋美術学校 大宮ビューティーアンドブライダル専門学校 (3) 代々木アニメーション学院 (2) 他

令和2年度の主な就職先

ファナック キヤノン 小松製作所 (5) 日産自動車 SUBARU いすゞ自動車
いすゞライネックス 日立ジョンソンコントロールズ空調 太陽ステンレススプリング
古河機械金属 (2) 大協精工 (4) 日冷工業 吉澤石灰工業 松金化学工業 タマポリ (2)
小西美術工藝社 石川工業 滝沢ハム 上原園 東京フード 松吉医科器械 東京電力パワーグリッド
足利銀行 栃木銀行 栃木信用金庫 (2) 日本郵便 下野農業協同組合 (3) 小山農業協同組合
栃木トヨタ自動車 栃木ダイハツ販売 ホンダカーズ南栃木 セブン-イレブン・ジャパン
自衛隊 他

Ⅳ 特別活動等の紹介

1 部活動一覧と活動状況

運動部は、ハンドボール部、フェンシング部、空手道部などが、全国大会や関東大会に出場しており、各大会で好成績を残しています。各部とも、技術の向上と精神面での充実を目指して活発に活動しており、これからの躍進が期待できます。

文化部でも、県総文祭で毎年好成績を収めている美術部や、珠算部・ワープロ部・会計研究部など商業高校の特色を活かした部もあり、優れた成果を上げています。

《運動部》

- 野球 ○陸上競技 ○バスケットボール ○硬式テニス
- バレーボール (女子) ○卓球 ○バドミントン ○弓道
- ハンドボール (女子) ○空手道 ○フェンシング

《文化部》

- 家庭 ○茶道 ○華道 ○書道 ○吹奏楽 ○美術
- 放送 ○珠算・電卓 ○ワープロ ○会計研究



2 特色ある活動について

毎年11月3日に開催される「栃商デパート」は、日頃教室で学んでいる知識を、販売実習の形で実践することを目的に行われています。各クラスで店舗を設け、地元商店などの協力を得ながら、商品の仕入から販売、さらに決算までを生徒達が行い、お客様とのふれあいを通して、生徒一人ひとりが生き生きと活動できる場になっています。



V 特色選抜について

1 定員の割合

商業科 30%程度

情報処理科 30%程度

2 出願するための資格要件

本校での学習に対応できる学力を有し、心身ともに健康で基本的な生活習慣が身につけており、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者

- (1) 本校の商業科または情報処理科を志望する動機が明確であり、各学科に対する興味・関心を有する者
- (2) 中学校で3年間部活動や生徒会活動などに積極的に参加した実績をもち、本校入学後は学習と両立させながら、部活動や生徒会活動などに主体的に取り組むことができる者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度 (『志願理由書』に関する口頭試問も含む)
作 文	時間30分 字数400～480字

4 その他、特記事項

- ・令和3年度重点強化拠点校 (競技：ハンドボール (女子)、フェンシング (女子))
- ・令和3年度強化推進拠点校 (競技：フェンシング (男子))

5 選抜の手順等

【資料の取り扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」(第1学年～第3学年)の評定(選択科目を除く)を合計する。(135点満点)
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の80%以内にある者(ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者数の80%以内にある者)で、面接・作文の評価が良好である者、または、資格要件に該当する事項が顕著であると認められた者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。